

平成26年度 決算報告書

(単位：円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,055,540,000	1,112,502,000	56,962,000	(注1)
自己収入	624,931,000	643,329,745	18,398,745	
授業料等収入	574,823,000	589,051,500	14,228,500	(注2)
雑収入	50,108,000	54,278,245	4,170,245	
受託研究等収入	51,049,000	26,555,208	△ 24,493,792	(注3)
補助金収入	0	46,503	46,503	
前中期目標期間繰越積立金取崩収入	0	72,746,640	72,746,640	(注4)
計	1,731,520,000	1,855,180,096	123,660,096	
支出				
業務費	1,116,261,000	1,313,042,611	196,781,611	
教育研究経費	254,225,000	437,473,585	183,248,585	(注5)
人件費	862,036,000	875,569,026	13,533,026	(注6)
一般管理費	564,210,000	437,725,304	△ 126,484,696	(注7)
受託研究等経費	51,049,000	29,897,233	△ 21,151,767	(注8)
補助金事業費	0	46,503	46,503	
計	1,731,520,000	1,780,711,651	49,191,651	

○予算と決算の差額について

(注1) 運営費交付金の差額の主な要因は、退職者の増加による退職手当38,239千円の増加及び給与規程改正に伴う教職員人件費14,295千円の増加によります。

(注2) 授業料等収入の差額の主な要因は、入学希望者が見込みより増加したことによる入学検定料収入5,115千円の増加及び入学者が見込みより増加したことによる入学料3,130千円の増加によります。

(注3) 受託研究等収入の差額の主な要因は、寄附金収入12,017千円の減少及び受託事業収入(社会福祉研修事業等)4,378千円を雑収入に組替したことにあります。

(注4) 前中期目標期間繰越積立金取崩収入の差額の主な要因は、講堂調光器盤更新25,399千円及び教室AV機器更新33,264千円等の支出の見合いで取崩しを行ったことにあります。

(注5) 教育研究経費の差額の主な要因は、管理運営業務(水道光熱費及び施設管理委託料等)135,465千円を目的(教育及び研究等)に応じて一般管理費から組替えしたこと及び教育等備品の更新49,324千円を行ったことにあります。

(注6) 人件費の差額の主な要因は、退職手当38,239千円が増加した一方、退職者不補充等による教員人件費21,414千円の減少によります。

(注7) 一般管理費の差額の主な要因は、管理運営業務(水道光熱費及び施設管理委託料等)135,465千円を目的(教育及び研究等)に応じて教育研究経費に組替えしたことにあります。

(注8) 受託研究等経費の差額の主な要因は、寄附金事業費11,737千円の減少及び法人実施事業費(看護管理者研修事業等)5,302千円を教育研究経費等に組替えしたことにあります。